

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Study Valley

【サービス名称】

Time Tact

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

区分A-2 オプションサービス

2024年1月



「探究」にフォーカスした 社会と繋がる教育



課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを全て網羅したプラットフォームであるTimeTactと、企業課題をコンテンツとして掲載し社会とのつながりを提供

TimeTact × 企業課題



探究学習プラットフォーム

- 探究学習特化型の学習管理・授業支援ツール
 - 生徒の自発的な学習を促進
 - 先生の授業実施の効率化も支援



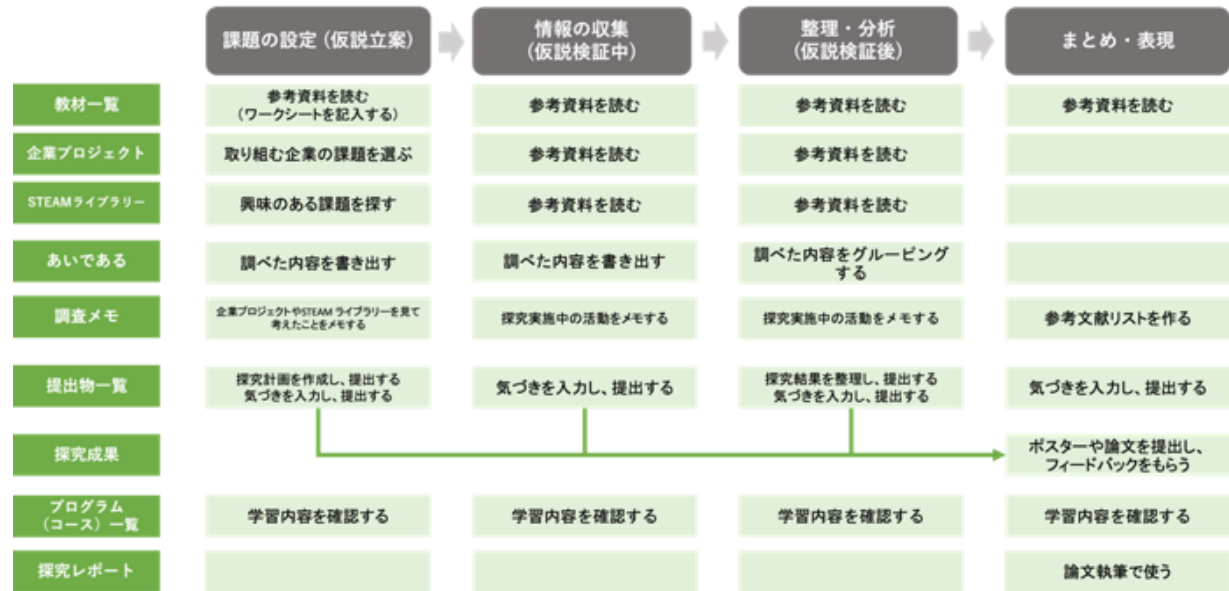
文系プログラミングが活躍中！？衝撃の事実から考える、文系プログラミングのこれからとは・・・？

企業課題を題材とした学習コンテンツ
多様な企業課題の中から
自分に合ったテーマを選択可能

■探究学習等サービスの概要

総合的な探究の時間（以下「探究学習」）に合わせ、課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを全て網羅
生徒の学びの効果の最大化だけでなく、教員の負荷を大幅に軽減する機能を提供

生徒の探究プロセスを全てカバー



探究的な学びに必要な教員支援機能を網羅



教職員・生徒のそれぞれで、探究を進める上で抱える課題に対してサポートを実施

- 教職員は、指導経験不足（答えのない課題を教えたことがない）
- 学習管理も煩雑

- 議論や調査内容など取組んだ記録が散乱し、生徒自身がまとめや振り返りがしづらい

- 「生きた社会課題」の提供不足
- 教科書で社会課題への取り組みが困難

業務負荷の低減

- 年間のカリキュラム計画や各授業での実施内容をツール上で作成、ワンクリックで確認可能
- 生徒の授業理解度・学習内容や、探究プロセスの進捗状況などもツール上で一括管理

学習方法の支援

- 紙や様々なソフトデータなどで生徒の学習記録が散乱している状態から、ツール上で一貫した探究プロセスの実施
- グループ協議ツールなど、探究プロセスに必要な機能を提供

社会との接続

- 社会における答えのない問いを実体験するため、企業が目の当たりにしている生きた課題を提供
- 企業からのフィードバックや交流機会なども設定し、社会に開かれた学びへ

年度を通じて生徒が探究学習を一元管理し、社会課題への取り組みが出来るようサポート

①課題設定（探究スキルを学ぶ・興味関心を探す）

SDGs貢献に向けて、食品ロス削減の取り組みアイデアを考えよう！

KOKUBU SDGs

食品ロスを削減するために
私たちにできることは？
いま、日本企業は協力して
この課題解決を目指している。

さまざまなコンテンツで探究スキルの獲得や興味の発見。
学校で使用中の教材も登録可能。

②情報収集（調査や活動内容の記録蓄積）

調べたこと、日々のふりかえり
など、さまざまな記録を蓄積可能。
グループへの情報共有もスムーズに。

③整理分析（思考の発散と収束）

オンライン上のホワイトボードで思考ツールを活用。
グループ活動の進捗状況を整理。

④まとめ・表現（成果物の作成）

テンプレートに沿った成果物の作成も可能。
対外発信にも活用。

年度を通じて、先生の探究指導（準備、実施、振り返りなど）をサポート

①授業計画・授業準備



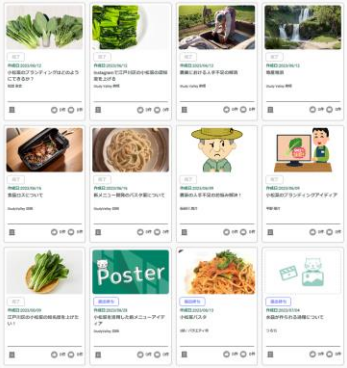
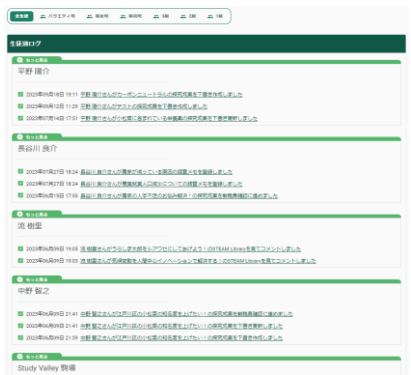
作成した授業計画を記入することで、年間の流れを可視化。
使用教材も添付することで年間イメージが湧く。

②授業実施



各コマで使用するスライドやワークシート等を事前に配布することで、当日の授業進行がスムーズに。

③授業後の生徒管理



生徒の取り組み状況や成果物をいつでも確認可能。

④成果物の対外発信



成果物を1つにまとめ、探究学習内の取り組みを外部に発信も可能。

■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

教職員年間のカリキュラム作成から、授業後の生徒の進捗管理を包括サポート

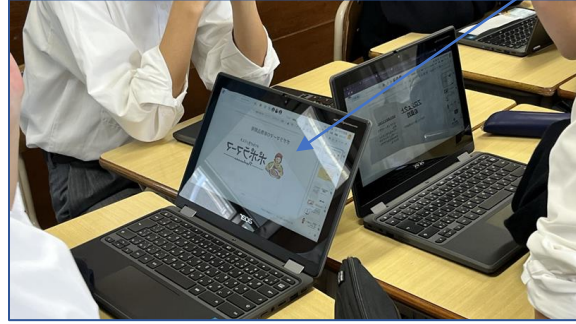
- 授業計画機能を活用し、カリキュラムの一元管理、授業を実施
- 生徒の議論や調査・分析内容、探究成果など生徒の進捗状況を把握

- 授業計画機能で、企業プロジェクトや各種教材などを設定することで生徒に配信され、授業を実施

- 生徒・グループごとの取組み状況は一覧で把握可能
- 各取組み内容の詳細も個別に確認出来、進捗状況をフォロー

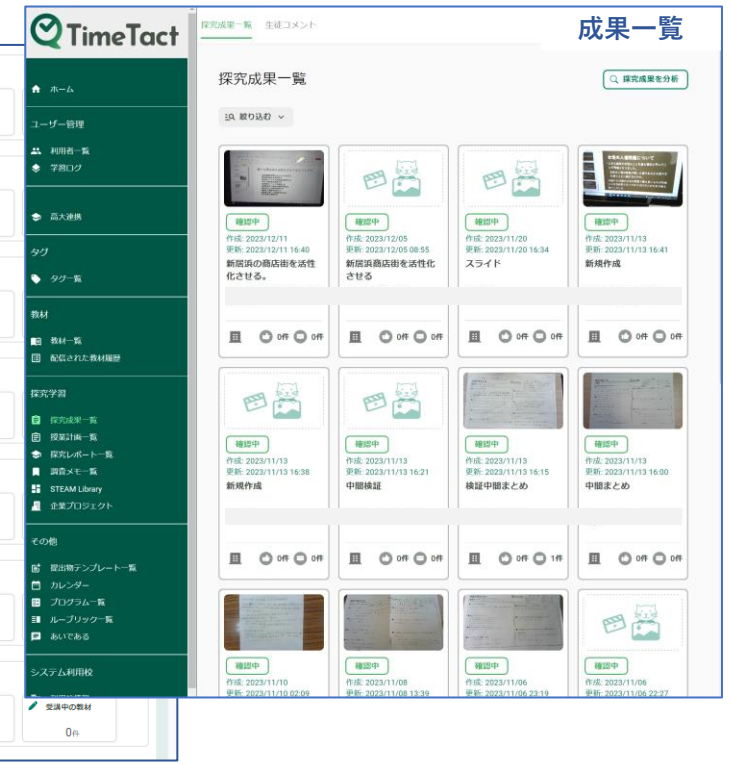
授業計画機能

16	2023/09/14 (木)	14:30 - 15:20	運動会	TimeTactのレクチャーを活用して、課題の背景や企業の現状の取り組みなどを調べる。一つ「プロジェクト」を決める グループ決定 使用教材: 0.ガイダンス 2.企業の取り組み調査 ※ワークシート提出物なし	0. 企業プロジェクトとは? 2. 企業の取り組みを調査しよう
17	2023/09/21 (木)	14:30 - 15:20	ワークはあいであるを使用する	グループでプロジェクトの目的を達成するためのアイデアを考える。また、考えた解決策をクラス内で共有しながら、お互いにフィードバックをしよう。 ワークはあいであるを使用する 使用教材: 3. アイデアを考えよう ※アイデアシート グループで配信	3. アイデアを考えよう
18	2023/09/28 (木)	14:30 - 15:20	ワークはあいであるを使用する	基本的な調査方法を学び、立てた問いに調査する優先順位を付けたり、調査方法を整理したりする。調査する問いを1つ決める。 ワークはあいであるを使用する 使用教材: 4. 問いを立てよう ※問いシート グループで配信	4. 問いを立てよう



取組一覧

0件	10件	0件	0件
0件	10件	0件	3件
0件	10件	0件	3件
0件	10件	0件	3件
0件	10件	0件	3件
0件	10件	0件	3件
0件	10件	0件	3件

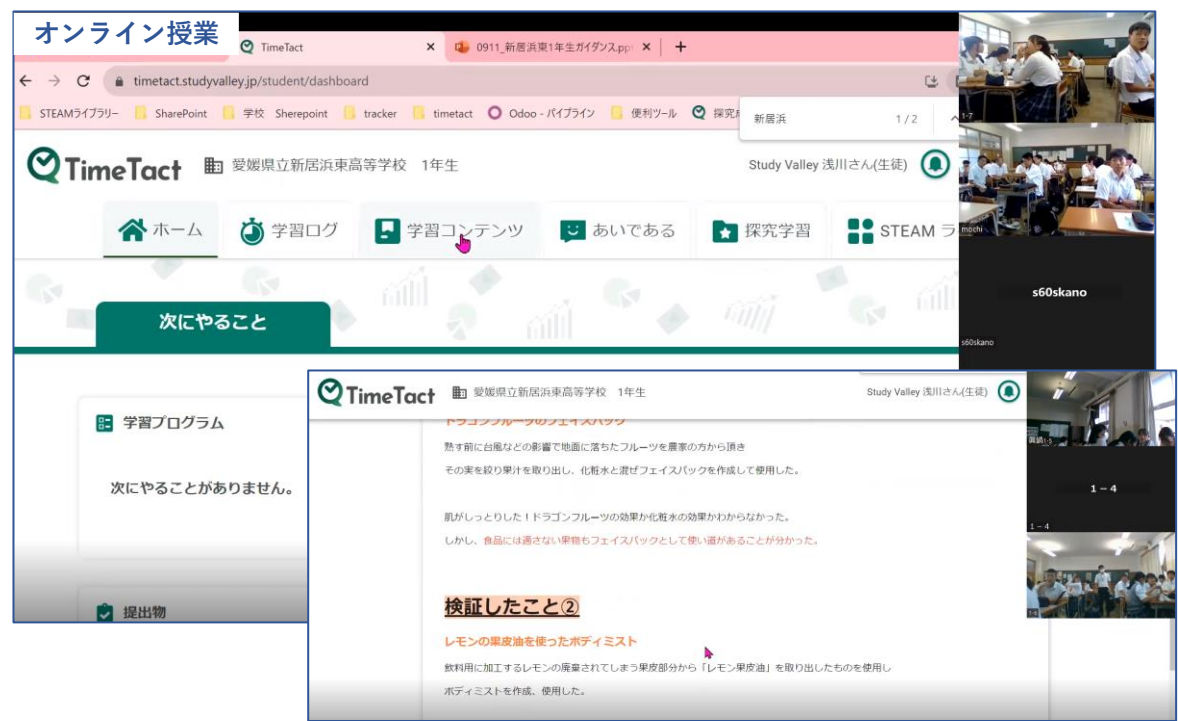


教職員の生徒指導を授業代行や個別フィードバックによってサポート

- 探究プロフェッショナルによる授業代行で教職員の学びにつながる実演
- 仮説設定、調査設計などへ個別フィードバックにより生徒の探究学習を軌道修正

TimeTactを活用した生徒への探究授業を通し、探究プロセスの中で生徒へ教えるべき点を実演

生徒が提出した調査設計に対し、漏れている観点、なぜそれをやるべきなのか、など具体的なフィードバックを実施し、生徒が更に探究を深められる気づきとなっている



■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

生徒はグループでの議論や調査を一元的に記録し、探究成果のまとめまでをスムーズに実施

- あいであるで発散したグループ議論を行い、調査記録も一元的にまとめられる
- 過去の取り組み記録を基に、TimeTact上で探究成果としてまとめ

- 議論テーマに対して、ホワイトボード代わりにあいである上で各生徒が意見を出し合い、その後調査を進めた内容も記録し共有が可能

- TimeTact上で記録してきた、議論結果や調査記録などを基に、探究成果機能を活用して最終成果をTimeTact上でまとめ、教職員へ提出

調査メモ

はいである

TimeTact

結果・分析

「ホットペッパーグルメ外食総研」の調査では、7割以上の人が肉料理だと回答していた。また、若い人ほど肉料理が多いことがわかった。特に、20代女性の89.9%の人が肉料理だと回答していた。

性別	年代	肉類 (%)	魚類 (%)	どちらか食べない (%)
男性	20代	84.5	15.5	0.0
	30代	75.2	23.8	0.6
	40代	77.5	20.2	2.3
	50代	71.3	27.9	0.8
女性	20代	89.9	9.9	0.8
	30代	78.3	21.7	0.0
	40代	72.1	24.8	3.1
	50代	68.2	30.3	1.6

まとめ

日本では、魚料理を好む人よりも肉料理を好む人が多いことが分かった。しかし、それは性別や年代によって大きく違いが現れることも分かった。仮説とは異なる結果となったが、その理由として、現代の日本では海外から多くの肉類が輸入されており、肉類が手に入りやすくなったことで、肉料理が食卓に上がる機会が多くなった事が関係していると考えられる。

残課題・今後の課題

日本以外の国ではどのような結果になるのか。

教育委員会：9団体
学校数：30校(全て高等学校)
生徒数：約6,180人

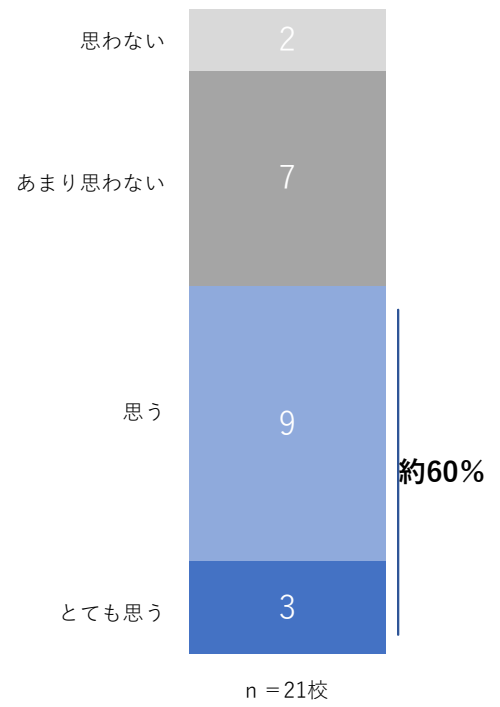
※新潟の下記一校のみ中等教育学校
津南中等教育学校（高等部）

教職員の探究指導への学びに加え、業務負荷の低減にもつながっている

授業準備・実施などの業務負荷を低減

探究の指導法や題材などの理解が促進

アンケート質問
探究授業の準備、実施の業務負荷が導入前と比べて、減っていると思いますか？)



- 導入校からのアンケート結果では、約60%の学校で、TimeTactサービスの導入によって、業務負荷の低減が図られた(低減に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで一元管理が可能となるため、授業準備が不要、学習状況把握が容易
- 授業内容は、TimeTact教職員ページで、今後の流れや授業の意図等が記載されているため学年全体への申し送りをスムーズに実施可能

外部視点からの意見で、気づきを得られた

- 生徒の取組に個別フィードバックを受けられるので、探究視点でのアドバイス内容を理解
- ポスター機能の活用で、最終アウトプットに向けて探究を進められる経験
- 学校内に探究のノウハウがまだ少なくとも、他校の好事例から自校の探究の改善点を把握

イメージしているカリキュラムの具体化出来た

- 社会課題への取り組み方を企業プロジェクトを通じてカリキュラムに導入
- 生徒の理解が進むワークシートの構造を可視化
- 定期的な打合せを通じ、探究担当の考えをカリキュラムに反映

生徒は企業課題への取り組みを通して探究スキルを身につけ、興味関心の発見から意欲向上へ

探究を深める力が身につき始めた

調べ学習からの変化

- 企業PJへの取り組みを通じて、探究のプロセスごとに何をすべきなのかを体験でき、今まで調べ学習だったのが、ゴールを意識して探究が出来るように
- 探究への取り組みに対する個別フィードバックで、問いや仮説を深めることが可能に

振り返りによる学びの深化

- 様々な記録をTimeTact上に一元的に残せるため、振り返りが容易に出来、学びを深めることが可能に

他人との協働

- 企業PJへの取り組みを通じて、グループ探究を初めて実施、他人との意見の差を認識し合意に至るなどの協働を体験

探究意欲の向上につながった

自分がどういうことに興味があるか認識

- 豊富な企業PJに触れることで、多様な企業を知れて、自分の興味関心を見つけられた
- 企業PJに取り組んで社会への興味があがり、探究への意欲が上がった
- インターンでは関わる事ができなかった、学校近辺に無い企業について知ることが出来た

興味のある企業の課題や取り組みを深ぼる意欲向上

- 探究を進めるうえでの前提情報を基に、根拠を得るための調査に時間を多く使い、自分の仮説検証をより深く出来るように

プロダクト利用、探究コンテンツの具体性に関する課題を改善していく

TimeTactの操作に慣れるのに時間を要した

ボタンやリンクが多く、ICTに慣れない教職員の方や、どこを押しているのか分からない生徒の対応に時間を割く場合もあった。

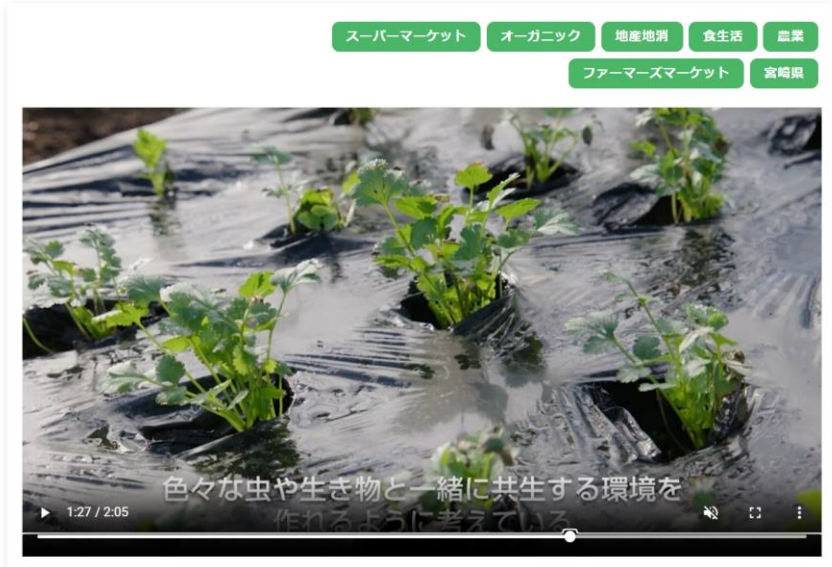
- 生徒・教職員共通のUIで、授業実施時は授業タブから入り、カレンダー上で各授業で使用する教材、機能へ迷わずアクセス
- 取り組んだ履歴は、自習タブから簡潔に確認可能



企業コンテンツの課題背景やレクチャーが抽象的

はじめて取り組む課題に対し、生徒はその課題に取り組む意義を理解することに困難があった。

- テキストベースではイメージしづらい課題背景の共感を得るため、動画などコンテンツを拡充



教職員



“ICTツールに慣れない教員が多いのに複数ツールを使う負荷が大きかったが、TimeTactで完結出来る様になり負荷が減った”

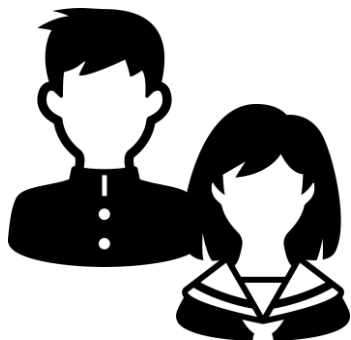
“生徒の活動をTimeTact上で毎授業記録できるので、成績をつけるのが楽になった”

“授業計画を各コマ単位で組んでもらい、TimeTact上で実施が出来るので準備時間が減った”

“TimeTactのサポートで、教員負荷が大きく実現できなかった企業連携が出来た”

“生徒の成果物に対する、フィードバックサポートで負荷がかなり軽減された。他の指導に割く時間を捻出することができた。”

生徒



探究を深める力

“企業HPや資料に書いてある情報を理解するだけでなく、その情報を元にその背景を探ることや、自分の生活と照らし合わせてみることなど、様々な行動から導き出すことの重要性を学んだ”

“教育の3つの柱をバランスよく取り入れ、3つの柱のサイクルをつくる活動を考えるのはとても大変で、難しかった。グループ活動をする事で自分とは違う視点の意見や提案内容があって自分の考えを深められたと思う”

探究意欲

“企業を調べて改めて農業の人手不足を実感しました。今、自分にできることを考えてみようと思いました。友達と協力して調べることができてとても楽しかったです。”

“保育園について調べてみるとたくさんの課題を抱えていてそれを知ることができてよかったと思いました。授業は終わったけど保育園の課題についてもっと調べ、課題解決にむけて自分にできることがないか探してみたいです。”

“これまでお店を利用する立場だけの理解だったが企業プロジェクトを通じ、企業の経営についてや企業の方の思いなどを知ることが出来てもっと知りたいと思った”

社名

株式会社 Study Valley(スタディバレー)

資本金

185,000,000円(資本準備金含む)

代表者

代表取締役 田中悠樹 (タナカユウキ)

本社

〒134-0083東京都江戸川区中葛西 5-20-13 水戸ビル 2F

問い合わせ先：welcome@studyvalley.jp

事業内容

TimeTact の開発・運用

STEAMライブラリー (経済産業省) の構築・運用



外部認証



AWS EdStartに採択
(日本で2社目)



Googleテックパートナー
認証取得済



国際規格セキュリティ
認証取得済

STEAMライブラリーの開発・構築および保守・運用を担当
日本のEdTech企業で唯一「東洋経済」すごいベンチャー100に選出

